

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

2022年度は、4月より定員が埋まります。

2. 職員（育成・研修など）

住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。デイ勉強会を今年度も実施し、パート・アルバイトへの参加率を上げる。日々の打ち合わせや振り返りを行ない、対応方法などの統一や、支援の質の向上、改善などを行なう。昨年度職員で学んだ PECS を現場で実践し、パート・アルバイトスタッフへ引き継いでいく。強度行動障害支援者研修（加算の為）や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などに参加して社会経験を積んでもらえるようにする。昼食調理や防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を提供する。また、企画等の写真をSNSに挙げ、活動報告、新規利用者やパート募集に繋げる。家族との連絡やり取りを密に行っていくため、情報発信のツール「LINE公式」を活用していく。（登録者を増やす。）

年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画（内部・外部）
4	春休み（デイ午前中から） メンバーさん新体制 4月1日～ 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	すみすみ研修
5	ゴールデンウィーク開所（休日時間）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・強度行動障害支援者養成研修・すみすみ研修
6		デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
7	夏休み（デイ午前中から） 夏デイ外出	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
8	夏休み（デイ午前中から）	デイ会議	
9・10	10月第5土曜日特別企画 ギャングスター企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修
11	おやじの会	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
12	冬休み（デイ午前中から） サンタ企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修

1	冬休み（デイ午前中から）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
2	2023年度メンバーさん決定 卒業パーティー（高3対象）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
3	春休み（デイ午前中から）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修

2022年度 大領COCORO つばめ →

じらふ長居（発達障がい児専門療育機関・児童発達支援・放課後デイサービス） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

専門療育機関業務の収入 1960万円＋放デイ・児童発達支援：事業費収入
委託料額 900万円 地域支援加算 160万円
それ以外の親子療育活動の収入 200万円

2. 職員（育成・研修など）

- ・専門療育事業を新たにスタートすることもあり、スタッフ（常勤、非常勤全て）間で、チームとして事業の目的や内容を共有できる場を適宜持ち、支援を実践し、振り返りを行っていく。
- 常勤職員間では、【支援の中で大切にすること】と【事業収支】の2点について、双方のバランスが取れるよう、役職者も含めて定期的に意見交換の場を持つ。
- ・すみすみ研修。受講の調整を行い、支援スキル向上に努める。
- ・法人研修、外部研修などから必須研修、支援スキル向上に必要な研修をピックアップして受講の調整を行う。
- ・サビ管研修、強度行動障がい研修については該当者が入れば適宜受講を調整する。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・専門療育事業の進捗状況にもよるが、ご家族向けの集まる場の開催を検討。
*じらふデイ・じらふヘルパーのママレモンズ、おやじの会との合流等も含めて検討していく。
- ・専門療育事業と移転に伴い、法人内外に事業内容を知ってもらえるよう、お知らせ等を作成し周知。秋以降で検討。

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

*2020年、2021年とコロナ関連でのキャンセル増。

今年度も状況変わらなければ、回復困難。状況次第では、収入減の見込み。

【支出項目特記事項】

- ・2021年度末で退職する登録ヘルパー9名。（うち、2021年度稼働者2名）
- ・感染防止対策備品：フェイスシールド・シューカバー・手袋など
- ・災害時備品：モバイルバッテリー・簡易トイレ・水・食料など

2. 職員（育成・研修など）

- ・法人研修、すみすみ研修への参加。日々の実践へとつなげる。
- ・「目指せ支援者の会（通称めざ会）」を継続実施。スキルアップを目指す。
他部署への参加呼びかけを行い、顔の見える関係づくり、支援のチームの輪を広げる。
- ・「PECS（H）」を継続実施。PECS実践には積極的に参加。他部署へも呼びかけを行い、部署横断した学びの機会を作る。サービス中の実践にも取り組む。
- ・登録ヘルパーへの勉強会実施。（ZOOM＋現地開催）
職員が講師を担当することで、資料作成、伝える部分でのスキルアップを目指す。
- ・ヘルパー通信、SNSなども活用し、情報発信を行う。
- ・他機関、登録ヘルパーとのケース会議開催。情報共有に取り組む。
- ・住吉区こども部会に所属。地域の課題に取り組む一因として参加。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・コロナ禍においても継続してサービス提供を行えるように、引き続き過ごし方について検討。利用者への発信。
- ・ヘルパーMTの実施。（週1回）
情報共有、テーマ検討を行い日々の支援・業務につなげる。
- ・支援計画会議実施。（月4-5回実施） 情報共有、支援につなげる。
- ・担当者会議への参加。部署内担当者会議実施。（登録ヘルパー含む）
- ・キャンセル対応を粘り強く進める。難しい場合は、事務仕事・時間調整など、時間外勤務とならないような工夫を行う。
- ・ガイドヘルパー養成講座実習生の受け入れ。
《人材確保》
- ・ガイドヘルパー養成講座受講生への声かけ。
- ・大学などつながりある機関、法人内の部署・施設などにチラシ拡散。
- ・SNSの活用。
- ・「友だち紹介制度（キャッシュバック）」を開始。

2022年度 障がい者グループホーム 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・住吉エリアは昨年は空き室がありましたが、今年度は充足予定
- ・大領エリアは短期入所棟をグループホームに変更する

【支出項目特記事項】

<住吉>

- ・住宅内の各所（風呂壁紙、トイレなどなど）の修繕を計画的に行っていく

<大領>

- ・10年経ち家電関係の不具合が増えている。（電子レンジ、掃除機など）

2. 職員（育成・研修など）

- ・新規 GH 立ち上げ、コロナにより事務所分断でこれまでのような業務引継ぎレクチャーが難しかった。マニュアル化できる部分はマニュアル作成で補うが、利用者の生活を支える部署として職員側の生きる力（生活全般に対応できる力）のアップを図りたい。
- ・夜勤者確保は永続的課題

3. 事業内容（おもな企画）

- ・これまでのような、1泊旅行、日帰り外出、クリスマス会など多人数の集まる企画については、コロナの状況を見極めて実施。小規模な企画（個別企画）を実施していく。

2022年度 障がい者短期入所 事業計画書

1. 収支（予算）

- ・従来短期入所棟（4室）を3室をグループホームに転用するため減収が予測される

2. 職員（育成・研修など）

- ・女性利用者の受け入れ場所・方法の課題が残る。
- ・夜勤パートについても、GH夜勤で対応になるのかなど検討課題がある。

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

大阪市地域活動支援センター事業（生活支援型）委託費 2230 万円

計画相談：約 900 万円

2. 職員（育成・研修など）

職員配置：地域活動支援センター・計画相談支援 全員兼務 5人

研修：住吉区自立支援協議会で年 4 回程度企画運営。自部署においては当法人の実践行動指針をテーマに日々の業務について振り返る機会とする。

育成：OJT と法人内外研修などでのスキルアップを図る。

3. 事業内容（おもな企画）

【地域活動支援センター】

「居場所」としてサロンを開放。隔週で散歩と地域清掃の活動を継続。土曜・祝日は他事業所を利用されている方の来所が多くクラスター対策のため閉所。感染状況を見ながら段階的に開所予定。

【計画相談】

現状維持を原則にしながら、感染状況に応じて地域移行支援なども順次受けていく。

【福祉教育・住民交流】

感染症により学校関係や地域との協働は 2 年程中断しており、恐らく次年度も同様の動きか。オンライン活用や講義のみなど単発での依頼は都度お受けしていく。

【ボランティア】事務局機能継続。詳細は委員会にて対応。

【地域移行など】

地域移行は積極的に受け入れ。同時に地域内の受け皿を増やすために他事業所にもアプローチしていく。

【防災取り組み】

事務局機能を継続。委員会を中心として法人内防災対策は継続。BCP 策定を中心に検討していく。

年間事業計画（予定）

感染拡大防止のため、季節ごとのイベントは実施見合わせ中のため未定

2022年度 オガリ作業所（生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】前年度水準を目標とする

【支出項目特記事項】

- ① フロア設備メンテナンス（蛍光灯・壁・机・椅子等の補修・買い替え）40万
- ② 低濃度 PCB 廃棄物処理費（廃棄物運搬費）57万4200円
- ③ 企画関連 15万
- ④ パート企画賞（パート育成の一環で事業計画や企画・個別支援計画等を職員と一緒に担っていただき、内容に応じて評価を行う。積極的に参加の姿勢を示されるパート職員に関しては特典、オガリのお米をボーナスとして支給する。）20万円

2. 職員（育成・研修など）

・強度行動障害関連（行動援護従事者養成研修含む）を2022年度内に1～2名を受講予定である。

3. 事業内容（おもな企画）

・外出・季節ごとのイベント企画（時勢に応じて実施）

年間事業計画（予定）

月	内容	月	
4	花見	5	GW（祝日事業）
6	外出	7	外出
8	お盆（祝日事業）	9	懇談
10	懇談・秋外出	11	秋外出
12	クリスマス企画	1	正月企画
2	懇談	3	懇談

2022年度 オガリ作業所（就労継続支援B型）事業計画書

1. 収支（予算）

【支出項目特記事項】

- ・パン工房修繕工事（20万円）
- ・総セン地下陶芸室外側の溝のふた修繕
- ・パン工房電話機取り換え

3. 職員（育成・研修など）

- ・総セン就Bとともに、各班の状況を知り、利用者対応や店舗運営について意見交換などできるようにしたい。
- ・各階層別法人研修、虐待研修、衛生管理研修等の受講
- ・すみすみ研修を積極的に活用し、支援について知識・技術を磨く。

4. 事業内容（おもな企画）

- ・〈製パン班〉クラウドファンディング MUga-MUchu 企画への参画で、新たに既存の商品(焼き菓子)を中心としたセットの販売
- ・〈清掃班〉新規利用者の受け入れ。高齢利用者の増加により、ご本人の体力面、ご家族の介護等により夕方の作業に入られる利用者が減ってきている。他班と同じく、16時までの利用とする利用形態の標準化を行っていききたい。
- ・〈介護・厨房班〉新規利用者の受け入れ
- ・〈縫製班〉はぎれを使った小物作り、ボディーバッグ第3弾の商品化
- ・法人就B利用者向け「ライサポBworker」の発行

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	清掃班 WAX がけ	5月	清掃班 WAX がけ
6月	支援学校実習生受け入れ	7月	清掃班 WAX がけ
8月	清掃班 WAX がけ	9月	清掃班 WAX がけ 個別支援計画モニタリング
10月	製パン班建国小販売 製パン班イベント(かぼちゃまつり)	11月	
12月	清掃班 WAX がけ 製パン班イベント(クリスマスケーキ) クリスマス企画	1月	清掃班 WAX がけ
2月	製パン班イベント(バレンタイン) 個別支援計画モニタリング すみよし区文化フェスティバル	3月	製パン班ふらっと楽しむすみよし 年度末三者懇談

2022年度 総セン通所（生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】前年度とほぼ同水準

【支出項目特記事項】

エアコン清掃費9万（1台3万×3台）・器具什器（机・椅子等・家電）30万
Kirinn 班の扉（取替え予定）・外出・企画関連20万

2. 職員（育成・研修など）

- ・強度行動障害関連（行動援護従事者養成研修含む）を2022年度内に1～2名を受講予定である。その他、すみすみ研修等
- ・防災訓練

2. 事業内容（おもな企画）

- ・外出（外食）企画（時勢に応じてテイクアウト等で）

年間事業計画（予定）

月	内容	月	
4	花見	5	GW（祝日事業） エアコンメンテナンス
6	外出	7	外出
8	お盆（祝日事業）	9	懇談
10	懇談・秋外出	11	秋外出
12	クリスマス企画	1	正月企画
2	懇談	3	懇談

2022年度 総セン障がい通所（就労継続支援B型） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】前年度水準から向上を図る。

引きこもりや新型コロナウイルスまん延に伴う状況を鑑み在宅利用を活用し稼働率の維持向上に繋げる予定です。

【支出項目特記事項】

- ・べらしお福祉店厨房勝手口外グリストラップ改修工事…約60万円

2. 職員（育成・研修など）

- ・大人の〇〇塾再開（状況に応じリモート等での実施）
- ・就B全体での各班情報共有、利用者対応や店舗運営について定期的な意見交換
- ・他事業所、他機関、他企業との連携強化及びネットワーク拡大
- ・食品衛生法改正に伴う諸々講習会受講

3. 事業内容（おもな企画）

- ・プリント事業の商品ラインナップ拡大
- ・ラーメン事業レシピ改定に伴う移動販売商品改定
- ・喫茶事業のテイクアウトメニュー強化

年間事業計画（予定）

新型コロナウイルスまん延に伴いイベント出店縮小も想定しつつ、可能な範囲での祝日臨時営業（店舗営業）を実施予定。

月	内容	月	内容
4	イベント出店	10	イベント出店
5	イベント出店	11	イベント出店
6	イベント出店	12	イベント出店・外食研修・大掃除
7	イベント出店	1	イベント出店
8	イベント出店・外食研修	2	イベント出店
9	イベント出店	3	イベント出店

2022年度 大領地域の家であい（生活介護） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

利用者数は増減なし。

2021年度にあった重度障害者支援加算Ⅱ3が2022年度はなくなることによる減収

2. 職員（育成・研修など）

昨年度同様、職員育成を重点事項として取り組んでいきます。とりわけ支援スキルの向上を目標に挙げます。集団支援と個別支援の両側面を理解し、場面に応じた対応、支援を考え実施できる人材を育てることを目指します。そのために、研修に参加し現場に即応できる学びを積んでもらいます。

管理面において、必要な職員に必要な研修に参加することができるようマネジメントに努めます。

3. 事業内容（おもな企画）

年間事業計画（予定）

月	内容	3月	家族会
4月	春の外出	3月	個別懇談
8月	アートギャラリー		
9月	個別懇談		
11月	秋の外出		

2022年度 大領COCORO（生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】若干の増収となる。利用者増員はあるものの、1階の「ひなた」は各曜日に空きがある為、年度途中の受け入れも視野に入れていく。また、入浴の枠も空きがある

【支出項目特記事項】

- ・ロベリア（寝台浴）のモーター修理 10万円 ※長期使用による劣化
- ・理学療法士の派遣 ※訓練のニーズが高い ※加算で23,000円/月の収入あり

2. 職員（育成・研修など）

- ・「ひなた」は昨年度後半から各曜日に主担制を導入。体制表も見直し、現場職員が目的を意識して支援できることを目指している。継続課題として今後もブラッシュアップしていく。ひなた会議も毎月実施。
- ・「つなぐ」では昨年度より構造化を図り、よりメンバーが集中して作業参加しやすい環境を作っている。新たなメンバーも加わったので、今後もブラッシュアップしていく。つなぐ会議も毎月実施。
- ・看護師とは今年度も感染対策を中心に協働していきたい。昨年度を反省し、消毒などのルーティン作業の徹底だけでなく、ノロウィルス対応の実地訓練（嘔吐処理など）も研修の一つとして取り入れていく。

4. 事業内容（おもな企画）

- ・外出企画：年1回実施。イオンモール、公園、外食を希望別で実施。
- ・テイクアウト企画：年1回実施。和洋中など希望別で実施。
- ・ボランティアの積極的受け入れ：パフォーマンスボラを活用し、室内プログラムの充実を図る。

年間事業計画（予定）

月	内容	10月	祝日事業、前期懇談
4月	歓迎会、祝日事業	11月	テイクアウト企画、祝日事業
5月	祝日事業、新規メンバー懇談	12月	クリスマス会
6月	外出	1月	新年会、祝日事業
7月	外出、祝日事業	2月	祝日事業、後期懇談
8月	祝日事業	3月	1年お疲れ様会、後期懇談
9月	外出、祝日事業		

2022年度 つみき（生活訓練・生活介護）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・生活訓練3名（訪問1名）
- ・生活介護12名と契約うち1人は利用予測が難しく収入には入れていない

【支出項目特記事項】

- ・つみき内の職員用パソコンのネットワーク化を図る

2. 職員（育成・研修など）

PECSレベル1研修：1名

強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)：1名

コンサルテーション年3回

3. 事業内容（おもな企画）

【1・2年生】調理、おんがく、ダンス、ヨガストレッチ、せいかつ、こころと体、くらし、等

【3・4年生】おしゃれ、ライフワーク、グループワーク、スポーツ、ダンス、実習等
年間事業計画（予定）

月	内容	10月	オープンキャンパス
4月	入学式	11月	懇親会
5月	企画	12月	クリスマス会
7月	宿泊学習	2月	発表会&報告会
9月	つみき旅行	3月	卒業式

2022年度 じらふ・泉北(放課後等デイサービス) 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

- ・前年度と同水準…曜日によっては定員が埋まっているため、新規契約については曜日毎のご案内となる。

【支出項目特記事項】

- ・おもちゃロッカーの買い替え（鍵付きのもの）
- ・その他、防災に関する備品や備蓄品購入

2. 職員（育成・研修など）

部門内研修…引き続き、スタッフ部門内研修(pecs 等の日常的な支援について、制

度について、リスク、感染症対策、人権擁護等)を毎月実施。

外部研修…「すみすみ研修」はじめ、堺市(市の主催や、市の委託事業「あい・すてーしょん」主催のもの)やさかい放課後連絡会、その他の団体が行う研修はスタッフ全員に周知し、希望に応じて参加補償する。基本的に zoom 等オンライン対応があればオンラインにて参加をすすめ、交通費や移動時間の削減を図る。

パート対象個別面談…人事評価も含め、パートさんの個別懇談を年1回程度実施し、日常的な疑問や不安、健康面の把握、その他意見交換等できる機会を持つ。

その他…①泉北三拠点(じらふ泉北、はぴな、るぴなす)でスタッフ応援体制を整え、不測の事態に対応できるようにしておく。

②今後、若い人材を確保に向けて、近隣の大学等(健康福祉短期大学、桃山学院教育大学など)との繋がりづくりを進める。

3. 事業内容(おもな企画)

- ・コロナ感染拡大状況を鑑みながら、季節行事や外出行事、調理活動等を企画。できれば2021年度と同等の企画数を実施したい。
- ・地域とのつながりを生かした事業活動を検討(例:現在加盟している子育て支援団体プラットフォーム「ココ×カラ」や、地元の社会福祉法人やNPO法人、大学などとのコラボ等)したい。

年間事業計画(予定)

月	内容	10月	ハロウィンイベント
毎月	おやつづくり、創作活動等	11月	みかん狩り
4月	お花見	12月	クリスマスパーティー、年越しそば
5月	GW企画(クッキングや外出など)	1月	初詣、書初め、冬休み企画
7~8月	夏休み企画	3月	総合避難訓練、卒業パーティー
9月	総合避難訓練		春休み企画

2022年度 みんなのマーケットるぴなす(就労継続支援B型) 事業計画書

1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】前年度と同水準(1日平均12~13名の利用)

2. 職員(育成・研修など)

基本的な研修の他、事例検討会や他機関との連携について学ぶような研修の実施。

3. 事業内容(おもな企画)

今年度は 未活用の果物等を活かした商品の開発、販路の拡大を図っていく予定。

また他事業所とも合同で大きなプロジェクト開始に向けて動く取り組みを模索。
 食材卸問屋とも取引を開始し惣菜コーナーの大幅拡充を図る。

年間事業計画（予定）

イベント

月	内容
4月	たかくらイースター
7月	たかくら夏祭り
10月	たかくらハロウィン

（作業）

月	
1月	みかん収穫作業
5月	甘夏・日向夏収穫作業
8月末	ぶどう収穫作業
9月	栗拾い作業
12月	みかん収穫作業

2022年度 はぴな（生活介護） 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 50,000 千円

【支出項目特記事項】 メンバー用机、椅子の補強修理、もしくは購入。

2. 職員（育成・研修など）

・正職員・パート職員共に毎月の研修を計画的に行う。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・季節ごとのイベント(水遊び・ハロウィン・クリスマス等)
- ・外出企画(公園、ピクニック、レジャー施設等)
- ・実践報告（法人内、外部向け）に積極的に参加し発表を行う。

年間事業計画（予定）

月	内容		
4	お花見	12	クリスマス会
5	お出かけ企画	1	初詣
7~8	水遊び・プール		
10	ハロウィン		